

官民連携基盤整備推進調査費 実施案件一覧（令和3年度）

年度	年度-番号	調査名	実施主体	対象地域	概要	実施計画額（千円）	
						事業費	国費
R3	3-1	ひらふスキー場第1駐車場における交通結節点及び観光拠点基盤整備検討調査	倶知安町	北海道倶知安町	国際的なリゾート形成が進むニセコエリアの中心に位置する、北海道倶知安町のひらふスキー場第1駐車場において、駐車場の狭小化への対応や広場空間の確保などによりリゾートとしての国際的な競争力を高めるため、民間事業者による来訪者対応施設の再整備等と合わせて、駐車場やバスプールなどの交通結節点や広場空間などを有するシンボルゲートの整備を計画しており、それら施設の概略設計等を行うとともに整備・運営に係るPPP/PFI導入可能性検討を行う。	18,400	9,200
	3-2	JR新得駅周辺における地域活性化拠点形成のための基盤整備検討調査	新得町	北海道新得町	北海道十勝地方の玄関口の役割を担うJR新得駅の周辺地区において、衰退する中心市街地に賑わいを創出するため、民間事業者による宿泊・温浴施設等の複合施設の運営と合わせて、公共交通の利便性向上や交通結節点の機能強化のための駅前広場や駐車場の整備を行うとともに、観光拠点となる複合施設を整備することを計画しており、それら施設の配置検討や概略設計等を行う。	30,800	15,400
	3-3	西公園を活用した観光振興及び地域活性化のための基盤整備検討調査	山形市	山形県山形市	東北中央自動車道の山形PAIに隣接する西公園において、公園の機能を充実した上で、山形PAから直接利用できるようにするため、民間事業者による収益施設の整備・運営及び公園の管理に係るPPP/PFI導入可能性検討と合わせて、公園の施設配置検討、山形PA第2駐車場の予備設計を行う。	22,000	11,000
	3-4	温海地域における道の駅移転整備に係る基盤整備検討調査	鶴岡市	山形県鶴岡市	温泉を中心とした観光が盛んな温海地域において、日本海沿岸東北自動車道のICから離れている既存の道の駅の移転及び機能の充実のため、民間事業者による自然体験交流事業の実施やイベントの開催と合わせて、道の駅に係る需要予測、概略設計及び整備・運営に係るPPP/PFI導入可能性検討を行う。	19,000	9,500
	3-5	敷島公園水泳場の建替えによる地域活性化のための基盤整備調査	群馬県	群馬県前橋市	国民スポーツ大会が予定されている敷島公園水泳場において、老朽化した水泳場の建替えによる地域活性化を図るため、民間事業者によるイベントや収益施設の設置等と合わせて、水泳場及び関連する周辺施設の基本計画の検討、水泳場の整備・管理運営に係るPPP/PFI導入可能性検討等を行う。	21,000	10,500
	3-6	佐倉ふるさと広場における観光拠点形成のための基盤整備検討調査	佐倉市	千葉県佐倉市	印旛沼観光の玄関となっている佐倉市北部において、佐倉ふるさと広場の機能強化を図るため、民間事業者による収益施設の運営や体験ツアーイベントの開催と合わせて、公園に係る需要調査、施設検討、概略設計及び整備・運営に係るPPP/PFI導入可能性検討を行う。	17,000	8,500
	3-7	金町駅周辺地区における基盤整備検討調査	葛飾区	東京都葛飾区	東京都葛飾区の金町地区において、住民の増加による道路交通環境の悪化や駅周辺の回遊性の欠如による地元商業の衰退などの都市問題に対応するため、新たな再開発事業に合わせ、安全な歩行空間を確保するための道路の拡幅や駅前広場の拡張を計画しており、それら施設の基本設計を行うとともに、道路や再開発事業で生み出される広場の管理・運営に係るPPP/PFI導入可能性検討を行う。	18,600	9,300
	3-8	両津港南埠頭におけるにぎわい拠点形成のための基盤整備検討調査	新潟県、佐渡市	新潟県佐渡市	佐渡島における古からの玄関口である新潟県佐渡市の両津港周辺地域において、佐渡島の豊富な観光資源を活用した周遊滞在型観光を推進できるよう、みなどを核としたまちづくりや地域振興の取組が進められている当地をにぎわい創出の拠点とするため、民間事業者による商業施設建設等と合わせて、緑地や埠頭内道路、駐車場の整備を計画しており、それら施設の整備に係る需要予測や概略設計等を行う。	20,000	10,000
	3-9	伊豆の国市におけるサイクルツーリズムによる地域活性化のための基盤整備検討調査	伊豆の国市	静岡県伊豆の国市	サイクルツーリズムが加速している静岡県伊豆の国市の狩野川山地区及び伊豆長岡地域において、サイクリスト向けの新たな滞在拠点を整備することで、長岡地域の観光資源と狩野川の自然資源を結び回遊性の向上を図るため、民間事業者による観光拠点の整備と合わせて、公園の整備やこれに伴って必要なアクセス道路整備等を計画しており、それら施設の整備に係る概略設計や整備・管理運営に係るPPP/PFI導入可能性検討を行う。	16,800	8,400
	3-10	大門公園における防災と賑わい創出のための基盤整備検討調査	岸和田市	大阪府岸和田市	岸和田市域の東部に位置する当地において、地域住民や市内外来訪者の賑わいの場を創出するとともに、災害時における避難地を確保するため、民間事業者によるイベントや収益施設の運営等と合わせて、公園の整備に係る基本計画の検討及びPark-PFI等官民連携による事業手法の導入検討を行う。	16,200	8,100
	3-11	王仁公園再整備による地域活性化のための基盤整備検討調査	枚方市	大阪府枚方市	大阪のベッドタウンである枚方市東部地区において、公園施設の再配置により新たにスポーツ施設等を整備するため、民間事業者による新規施設の整備やイベント開催と合わせて、公園に係る基本計画の検討及び整備・運営に係るPPP/PFI導入可能性検討等を行う。	20,000	10,000
	3-12	須磨ヨットハーバー再整備による地域活性化のための基盤整備検討調査	神戸市	兵庫県神戸市	市の観光拠点である須磨地区の須磨ヨットハーバーにおいて、周辺の水族園等との一体的な賑わい創出と近年の大型艇需要に対応するため、民間事業者による水族園等のリニューアルや水上交通の導入等と合わせて、港湾施設の概略設計、需要予測及びPPP/PFI導入可能性検討等を行う。	20,000	10,000
	3-13	南紀白浜空港を活用した地域活性化のための基盤整備検討調査	和歌山県	和歌山県白浜町	白浜温泉や熊野古道などの観光地を有する和歌山県南部において、自家用航空機等の需要増加に対応するため、民間事業者によるホテルやワーケーションオフィスの整備と合わせて、空港の需要調査及び駐機場・誘導路等の概略設計を行う。	29,000	14,500
	3-14	JR古賀駅東口周辺地区官民連携まちづくりのための基盤整備検討調査	古賀市	福岡県古賀市	古賀駅東口周辺地区において、不足する都市機能を完備し、賑わいのある歩きやすくなるまちなかと駅周辺への定住を促進するコンパクトなまちづくりを目指すため、民間事業者による居住施設や商業施設の開発等と合わせて、道路、駅前広場、公園等のデザイン・設計、配置検討及び整備・管理運営に係るPPP/PFI導入可能性検討等を行う。	33,000	16,500
	3-15	高千穂鉄道跡地公園化に伴う観光拠点形成のための基盤整備検討調査	高千穂町	宮崎県高千穂町	高千穂峠等の観光資源を有する当地において、廃線となった高千穂鉄道のシンボルであった高千穂鉄橋を活用した新たな観光拠点を形成するため、民間事業者による観光案内所の設置や観光イベントの実施等と合わせて、公園、地域交流施設、道路等の整備に係る基本計画、基本設計及びPPP/PFI導入可能性検討を行う。	46,800	23,400
	3-16	安慶名周辺交通拠点整備による地域活性化のための基盤整備検討調査	うるま市	沖縄県うるま市	交通の要所である安慶名地区において、公共交通のシームレスな利用環境を整備するとともに、賑わいの場を形成するため、民間事業者によるバス路線の再編や賑わい創出イベント等と合わせて、バスターミナル、公益複合施設、緑地広場等の概略設計、基本計画の策定及び整備・管理運営に係るPPP/PFI導入可能性検討等を行う。	19,400	9,700
	3-17	石下駅周辺における交通結節機能強化のための基盤整備検討調査	常総市	茨城県常総市	地域の交通結節点であり、鬼怒川サイクリングロードに隣接する石下駅周辺エリアにおいて、駅前広場や周辺道路の環境整備のため、民間事業者による子育て世帯向け住宅の整備やサイクリングイベントの開催等と合わせて、駅前広場及び周辺道路、自転車通行空間の整備に向けた現況調査・概略設計・整備計画の検討及び駅前広場の整備・管理運営に係るPPP/PFI導入可能性検討を行う。	16,000	8,000
	3-18	第二京阪道路沿道における休憩施設の基盤整備検討調査	交野市	大阪府交野市	広域的な物流拠点となることが見込まれる第二京阪道路沿道の交野市において、増加する物流交通や物流倉庫周辺の環境保全のため、民間事業者による物流倉庫建設に合わせて、休憩施設（駐車場）の整備に向けた現況調査・整備効果・概略設計及び駐機場・収益施設の管理運営に係るPPP/PFI導入可能性検討を行う。	30,000	15,000
	3-19	三木市吉川地域における拠点エリア形成のための基盤整備検討調査	三木市	兵庫県三木市	三木市吉川地域において、現在、物販施設と温泉施設が併設しているエリアを観光・地域交流の拠点エリアとするため、民間事業者によるショップやミュージアム機能の充実と合わせて地域交流施設・情報発信施設・駐車場の再整備に係る概略設計等を行う。	18,000	9,000

3-20	高松市における駐輪場及び駐車場の機能強化に向けた基盤整備検討調査	高松市	香川県高松市	高松市中心部において、鉄道と自転車の連携を高めるとともに駐車場利用の適正化を行うため、民間事業者によるレンタサイクルボートの追加や複合施設の立体駐車場整備事業と合わせて、鉄道駅周辺駐輪場の台数適正化や市営駐車場の再整備に係る需要調査、概略検討等を行う。	17,000	8,500
3-21	白石市における道の駅と公園の一体的整備による観光・産業・防災拠点形成のための基盤整備検討調査	白石市	宮城県白石市	中心市街地と西部エリアに豊富な観光資源を有し、令和2年10月に(仮称)白石中央スマートインターチェンジ(SIC)の事業化が決定した白石市において、観光産業の活性化やそれに伴う雇用の創出、市の防災力の強化のため、土地開発公社による工業団地の整備と合わせて、SICを活用した観光・防災拠点としての道の駅と公園の整備を行うにあたり、道の駅及び公園の概略設計やPPP/PFI導入可能性検討等を行う。	45,000	22,500
3-22	遊佐町における道の駅移転整備に係る基盤整備検討調査	遊佐町	山形県遊佐町	鳥海山など自然豊かな遊佐町において、日本海沿岸東北自動車道のICから離れている既存の道の駅の移転及び機能の充実のため、民間事業者による物販施設の整備、お土産品の開発や観光ツアーの実施と合わせて、道の駅の概略設計やPPP/PFI導入可能性検討等を行う。	20,000	10,000
3-23	江戸川台駅東口周辺地区における賑わい・魅力創出のための基盤整備検討調査	流山市	千葉県流山市	自家用車等の利用が増加したことで、通勤通学時間帯に交通渋滞が発生し、また、駅前商店街等の施設老朽化や住民の高齢化が進行している東武アーバンパークライン江戸川台駅東口周辺地区において、鉄道・バスの交通結節点としての江戸川台駅東口駅前広場の機能強化と利便性向上及び同地区における賑わい・魅力創出を図るため、バス事業者2社によるバス停留所の移設や駅前商店街による複合ビルを含めた商店街店舗の再配置等と合わせて、駅前広場の再整備に係る概略設計やPPP/PFI導入可能性検討等を行う。	22,000	11,000
3-24	芝山町における田園型居住地創出拠点整備による地域活性化のための基盤整備検討調査	芝山町	千葉県芝山町	第3滑走路の整備を開始した成田空港に隣接し、周辺では圏央道の整備も進んでいる芝山町において、それらの整備効果を町内の観光振興や住宅地形成に波及させるため、民間事業者による二地域居住に資する住宅地の整備や農業体験活動と合わせて、道路及び公園等の概略設計やPPP/PFI導入可能性検討等を行う。	19,600	9,800
計	24件				555,600	277,800

ひらふスキー場第1駐車場における交通結節点及び観光拠点基盤整備検討調査

地域の特徴等

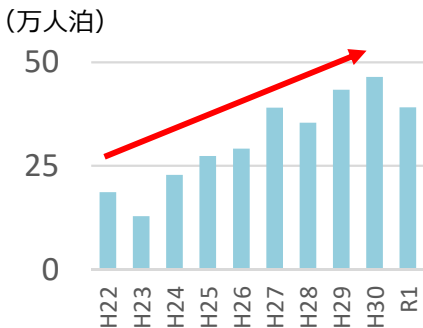
- 北海道西部に位置する倶知安町は、2000年代以降にインバウンドが急増し国際的なリゾート形成が進むニセコエリアを構成する自治体であり、今後、後志道の倶知安ICまでの開通や2030年度の北海道新幹線札幌延伸もひかえ、観光客のさらなる入込増が見込まれている。
- ニセコエリアの中心である同町ニセコひらふ地区の扇の要となる場所に立地し、新千歳空港や札幌とニセコエリアを結ぶ長距離バスやニセコの各リゾートを結ぶシャトルバスの発着地にもなっている、ひらふスキー場第1駐車場については、整備されてから40年程度が経過し、利用状況が変化するとともに狭隘化が進んだことから、安全確保のためにもその再整備が急務である。その際、人が集い交流するシンボルとなる広場空間が不足している状況を解消し、リゾートとしての国際的な競争力を高めるためにも、イベント等を開催できる広場機能も併せての整備が必要とされている。

くつちゃん
【調査箇所:北海道倶知安町】



北海道倶知安町
人口 17,007人(R2.1月末)
面積 261.34km²
倶知安町観光客入込数
R1 約149万人
※コロナ禍の影響あり
H30 約165万人
H21 約150万人

外国人延べ宿泊者数の推移



(1) 社会的背景・状況の変化等（きっかけ）

- H28.7 北海道新幹線倶知安駅高架化認可
- H29.3～ ひらふ地区駐車場再整備に係る有識者会議開催
- H30.10 高規格幹線道路(倶知安余市道路)(倶知安～共和)着工式
- R2.3 倶知安町観光振興計画・観光地マスタープラン策定
- R2.9 ひらふスキー場第1駐車場整備方針公表

(2) 民間事業者の活動・新たな投資・予定

- ①リフト事業者によるウェルカムセンター再整備
- ②PPP/PFI事業者による、路線バス、スキー場間シャトル、長距離バス、域内循環バスに対応したターミナル待合施設の運営（R7年度予定～）
- ③地域団体やイベント運営団体によるイベント開催（R7年度予定～）
- ④PPP/PFI事業者による商業施設エリアの運営（R7年度予定～）

密接な
関連性

(3) 基盤整備の必要性（現状の課題等）

- ・当該駐車場については、利用状況の変化とともに狭隘化等が進み、利用者の安全確保のためにも、その再整備が急務
- ・外国人のレンタカー使用率の高まり等により、ひらふエリアに進入する自動車台数が増加している中、観光客のための安定的な駐車場の確保が必要
- ・ニセコひらふ地区には、個々の建物、街路には良い空間があるが、ニセコエリアの中心として、人が集い交流するシンボルとなる場が不足

(4) 【調査内容】

- ①駐車場やバスプールなどの交通結節点、広場空間などを含めたシンボルゲートの整備に係る概略設計、測量、整備効果等の検討
- ②ウェルカムセンター（索道事業者の旅客施設との複合施設）に入るターミナル待合施設部分の整備に係る概略設計
- ③シンボルゲートとターミナル待合施設機能を有するウェルカムセンターの一体的運営に係るPPP/PFI導入可能性調査

(5) 民間の活動と一体的に整備する効果

- ・シンボルゲートとウェルカムセンターの再整備を一体的に行い、動線や観光機能を改善することで、スキー場利用者の利便性を向上。
- ・イベント開催や小規模店舗ゾーンの設定により、民間の視点から経済・体験価値を創造

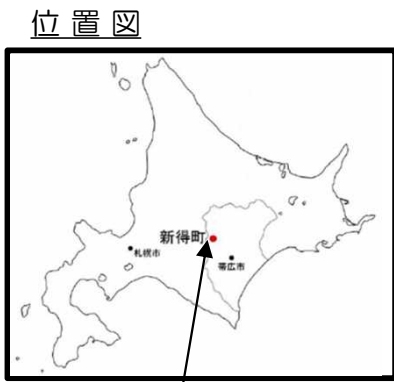


JR新得駅周辺における地域活性化拠点形成のための基盤整備検討調査

地域の特徴等

- JR新得駅は、札幌や帯広、富良野の各方面への路線のハブ駅として、道東十勝の玄関口であるとともに、サホロリゾートなどの観光地へのバスやタクシーといった二次交通の発着場を有するなど、交通結節点としての重要な役割を果たしている。また、新得駅内には観光案内所が設置され、地域特産物を扱う店舗もあり、町の観光拠点にもなっている。
- 一方、新得駅周辺については、商店街が衰退するなど中心市街地としての、賑わいを失う状況となっているところ、公共交通の利便性や交通結節点の機能強化を企図しての駅前広場の再整備や民間の活力を生かしての宿泊・温浴施設等の複合施設の整備により、街の顔としての当地に賑わいを創出しようとする気運が高まっている。

【調査箇所：北海道新得町】



凡例

- 社会資本整備
- 民間での取組

(1) 社会的背景・状況の変化等（きっかけ）

- ・平成28年3月 中心市街地の賑わいを呼び戻すための駅前広場の再整備や魅力ある商店街づくりを目指す「新得町第8期総合計画」を策定
- ・平成30年5月 新得町商工会が「新得駅前周辺再整備活性化事業」を策定し、新得町に対して駅前周辺再整備案を提出
- ・令和2年3月 駅前周辺再整備推進組織による検討を経て、「駅前周辺再整備基本構想」を策定

(2) 民間事業者の活動・新たな投資・予定

- ・新得町商工会が駅前周辺再整備事業主体として設立した新得タウンマネジメント（株）により、宿泊・温浴施設、複合施設を運営（R6年～）
- ・新得タウンマネジメント（株）などにより、新得駅を起点とした道東を周遊する新ツアーの企画、実施。（R6年～）
- ・新得町観光協会などにより、新得駅周辺で地場産品を利用した駅前マルシェや土曜市場、鉄道をテーマとした新たな集客イベントを開催。（R6年～）

密接な関連性

(3) 基盤整備の必要性（現状の課題等）

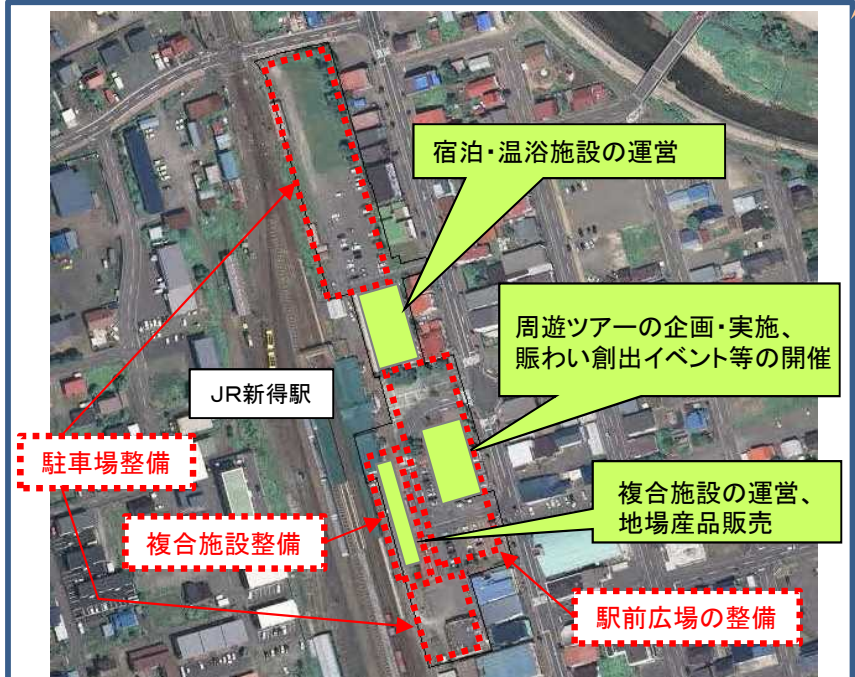
- ・観光客の誘致拡大のためには、賑わいが失われつつある駅前周辺の魅力の向上が必須であり、また、交通結節点として、バリアフリー等の機能充実や活性化も必要である。
- ・現行の駅前広場は観光客のレンタカーなどが誤進入するケースが見られることから、安全な車両動線への見直しが必要である。
- ・周辺駐車場についても、将来ニーズに対応したものに再整備することが求められている。

(4) 【調査内容】

- ・駅前広場、駐車場、複合施設（地域交流センター、観光交流センター、鉄道遺産展示施設など）に係る配置検討、概略設計、事業費の算出等

(5) 民間の活動と一体的に整備する効果

- ・駅前広場利用者の安全性、快適性の向上
- ・複合施設等の整備により、宿泊・温浴施設等と合わせて町民や観光客の交流が喚起され、あらたな消費が発生し、町内の経済活動の活性化が期待される



西公園を活用した観光振興及び地域活性化のための基盤整備検討調査

地域の特徴等

- 山形市は、山形県東南部に位置し、山形県の県庁所在地であり、中核市に指定されている。
- また、平成31年に福島市・山形市間が全線開通した東北中央自動車道の山形PAは、トイレのみで物販施設等がない。
- 山形PAに隣接する西公園は、平成17年に開園し、園内には、テニスコート8面、屋内多目的コート(テニスコート4面相当)、大型複合遊具、じゃぶじゃぶ池、いも煮広場、足湯、水車の小川、キャンプ場、パークセンターなど多様な施設があり、年間を通して利用できる公園として幅広い年齢層に利用されている。
- 山形PAと西公園を連携して活用することによって、道路利用者や地域住民の活用が増え、活性化が期待される。

やまがたし
【調査箇所：山形県山形市】
位置図



(1) 社会的背景・状況の変化等（きっかけ）

- ・ R2年10月 西公園の民間活力導入による再整備
山形PA第2駐車場の整備方針を決定
- ・ R3年1月 西公園への民間施設導入にかかるサウンディング
結果を公表

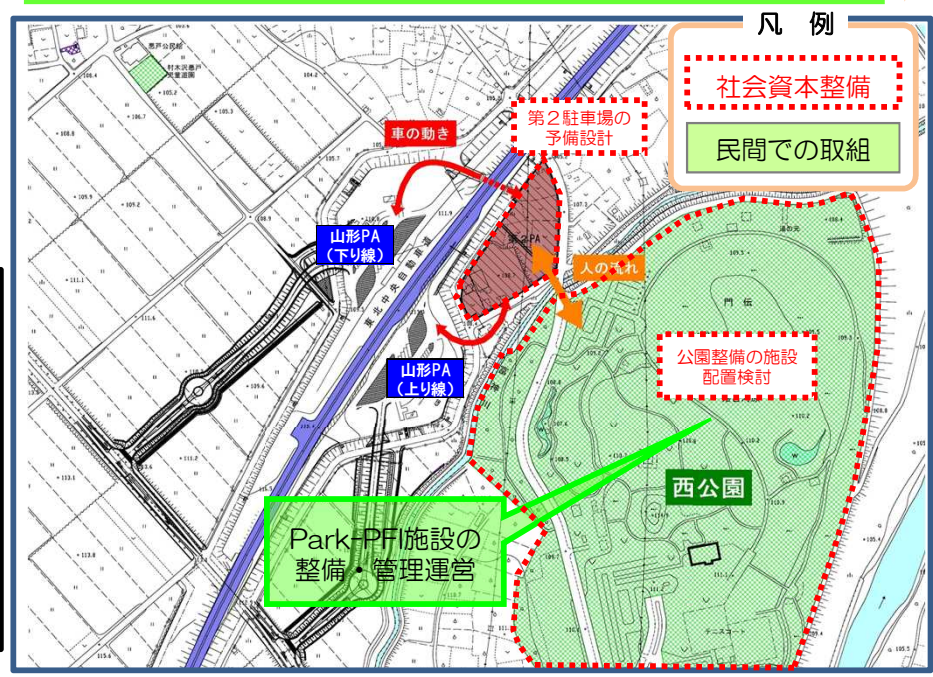
(2) 民間事業者の活動・新たな投資・予定

- ・ PPP/PFI事業者による公園・PA利用者のための収益施設の整備・管理運営、及び公園の再整備・管理運営(令和5年度予定)

密接な
関連性

(3) 基盤整備の必要性（現状の課題等）

- ・ 山形PAから西公園内に直接アクセスできるようにすることで、高速道路利用者も西公園の施設を利用できるようにすることが必要
- ・ 園内に公園の利用者が増加するような魅力的な機能が不足



(4) 【調査内容】

- ①公園に係る施設配置検討及び山形PA利活用検討(整備方針検討、整備必要性整理、歩道経路検討等)、第2駐車場予備設計
- ②公園内収益施設の整備・管理運営に係るPPP/PFI導入可能性検討

(5) 民間の活動と一体的に整備する効果

- ・ 西公園を活用し、高速道路利用者や地域住民のニーズに合った機能を提供することによる、交流人口の拡大や地域の活性化

